

令和7年度の観光振興の取組状況について



令和7年11月21日
福岡県商工部観光局



観光振興指針における 施策の柱	令和7年度における 主な施策
1 受入環境の充実	<ul style="list-style-type: none">・宿泊事業者の生産性向上支援・ユニバーサルツーリズムの推進
2 観光資源の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・温泉地への宿泊を促すイベントの開催・万葉歌碑による県内周遊の推進・久留米絣のオープンファクトリー化の推進・トレイルツーリズムの推進
3 戦略的なプロモーション	<ul style="list-style-type: none">・「食の王国 福岡」の魅力発信・国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施・県内温泉地への誘客強化・観光客の県内周遊・宿泊の促進
4 観光振興の体制強化	<ul style="list-style-type: none">・観光業の人材育成・雇用促進・食の多様性の推進

1 受入環境の充実

■ 宿泊事業者の生産性向上支援

① 宿泊業専門アドバイザー等による生産性向上の伴走支援強化

- ・「福岡県中小企業DX推進センター（旧福岡県中小企業生産性向上支援センター）」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置
- ・企業診断スタッフによる診断結果を踏まえ、宿泊業専門アドバイザーが現場の実態に合わせて売上向上やコスト削減等の生産性向上の取組を伴走型で細かく支援

支援件数：31件（令和7年10月31日時点）

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援

○ 一般枠

- ・売上向上やコスト削減等の生産性向上に資する事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 300万円

申請件数：20件（令和7年10月31日時点）

○ ユニバーサルツーリズム対応枠

- ・ユニバーサルツーリズムの推進に資する施設改修や機器の導入を行う事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 500万円

公募中（令和7年10月31日時点）

令和7年度における主な観光局事業について ②

■ ユニバーサルツーリズムの推進

- ・ユニバーサルツーリズム※の取組を推進するため、観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、観光関連施設等）を対象に、ユニバーサルツーリズムへの理解促進を図るためのセミナー及び実践に向けた取組を支援するためのアドバイザー派遣を実施

※ユニバーサルツーリズム・・・年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行

【開催回数】 2回（7月・11月）

【テーマ】 7月：「当事者目線による（障がいをお持ちの方への）具体的な配慮のポイント」

11月：「多様な方（外国人・高齢者・障がい者・LGBTQ等）へのおもてなし」

【参加者数】 152名（7月）

<アドバイザー派遣>

- ・専門アドバイザーが、観光関連事業者のユニバーサルツーリズム推進に向けたソフト面（従業員研修等）やハード面（施設整備等）の取組へアドバイスを行う



【ユニバーサルツーリズムセミナーの様子】



【アドバイザー派遣の様子】

2 観光資源の魅力向上

■ 温泉地への宿泊を促すイベントの開催

- 温泉地のさらなる賑わい創出と誘客促進を目的に、原鶴温泉において地元と連携し「原鶴湯ったりよかぜ祭り」を開催し、夜間と早朝に楽しめる催しを実施

【期間】 令和7年7月26日（土）～8月31日（日）

【内容】 ● 夜の催し

- ・水辺広場、河川敷のライトアップ
- ・キッチンカー、地元酒造会社などの出店（土日のみ）
- ・デジタルスタンプラリーで温泉街を楽しく周遊 など

● 日曜午前の限定サービス

- ・宿泊者向け筑後川遊覧船



【水辺広場ライトアップ】



【筑後川遊覧船】

■ 万葉歌碑による県内周遊の推進

① 「福岡県万葉歌碑魅力発信セミナー」の開催

- 観光資源としての万葉歌碑の活用方法や魅力を改めて認識してもらうため、福岡県出身の万葉学者である國學院大學の上野 誠教授を講師に招き、セミナーを開催

【日 時】 令和7年10月24日（金） 10:00～11:00

【参加者】 市町村・観光協会職員、旅行事業者、万葉歌碑に関心がある一般の方

② 万葉歌碑を観光資源とした観光プログラムの開発等を支援

- 万葉歌碑を観光資源とした観光プログラムの開発や旅行商品の造成等を実施する観光関連事業者を支援

【補助率】 1/2 【限度額】 100万円／件



【万葉歌碑魅力発信セミナーの様子】

■ 久留米絣のオープンファクトリー化の推進

① 伝統工芸品産地における受入環境整備

- ・産地の事業者が地域一体となって生産現場を公開し、工房見学やものづくり体験を提供する「オープンファクトリー」を進め、観光客の受入体制を構築

【内 容】 受入体制の構築、参加事業者に対する伴走支援、PRツール作成 等



【久留米絣の工房見学】

② 工房見学実施に取り組む事業者への支援

- ・上記①に取り組む事業者が、観光客の受け入れのために実施する施設改修や備品購入等に必要な経費を補助

【要 件】 複数事業者の連名申請 **【補助率】** 1/2 **【限度額】** 500万円（1事業者100万円）

■ トレイルツーリズムの推進

① 「英彦山巡礼路」サインの設置

- ・株式会社ヤマップと連携し、英彦山巡礼路の1つ「春峰ルート」に、英彦山巡礼路口ゴマークをあしらった日英併記のサインを設置

② 地元産品等をお届けする「英彦山巡礼路旅マエBOX」の販売

- ・地元グルメの詰め合わせと英彦山巡礼路オリジナルグッズを旅マエからお届けする商品をオンラインで販売し、地域経済に貢献

③ 「英彦山巡礼路モーメント投稿キャンペーン」の実施

- ・「春峰ルート」上に設定された複数の地点を通過してデジタルバッジを獲得し、YAMAPアプリ内で英彦山巡礼路に関する投稿をした方に記念品を配布

【期 間】 令和7年10月3日（金）～12月7日（日）



【英彦山巡礼路サイン】



【キャンペーン記念品】

3 戦略的なプロモーション

■ 「食の王国 福岡」の魅力発信

① 九州7県で大阪・関西万博に合同出展

- 「食の王国 福岡」をテーマとしたブースを出展し、福岡県自慢の食材を使ったお弁当の販売や、県産酒・八女伝統本玉露の試飲、農林水産加工品や伝統工芸品の販売を行うとともに本県の魅力を映像で紹介

【期 間】 令和7年9月3日（水）～5日（金）

【会 場】 大阪関西万博会場内 EXPO メッセ「WASSE」



【福岡県のブースの様子】



【福岡県の食材を使ったお弁当】



【伝統工芸品販売コーナー】

② 「ラ・リスト」の東京・パリでのイベントに出展

- 世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」が主催する東京、パリのイベントにブースを出展し、「食の王国福岡」の魅力を発信

【東 京】 [期 間] 令和7年10月22日（水）

【会 場】 在日フランス大使公邸

【パ リ】 [期 間] 令和7年11月24日（月）

【会 場】 フランス外務省



【ラ・リスト東京イベントでの様子】

令和7年度における主な観光局事業について ⑥

③ 新潟県との連携による観光と食・酒の共同PRを実施

・新潟と福岡両県の連携を踏まえ、福岡県の食や伝統工芸など様々な魅力を体験できる旅行商品の造成を支援するため、新潟県の旅行会社を対象に、モニターツアーを実施予定（令和8年2月頃）

■ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進

・英・仏・米・豪に設置している本県の観光誘客拠点を通じ、現地の旅行会社のメディアの招請や観光セミナーの開催等により、現地旅行会社が企画する旅行商品の造成・販売を支援



【米国旅行会社のファムトリップ】



【現地での観光セミナー（英国）】

② イスラム圏出身のインフルエンサーを活用した中東における誘客促進

・イスラム圏出身のインフルエンサーを活用し、中東向けに本県の観光の魅力やムスリムに対応した飲食店等を紹介

【取材候補（例）】 八女中央大茶園等の観光施設、宿泊施設、ムスリムフレンドリーの飲食店

③ アジア圏における広域観光エリア動画の配信及び現地旅行会社向け商談会の開催

- ・台湾・香港・韓国で人気のインフルエンサーを活用し、県内6つの広域観光エリア動画を配信

【配信本数】各国・地域 合計34本

- ・台湾、タイ、韓国において、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会を開催

【台 湾】 5月21日開催（現地35社52名、県内15団体23名が参加）

【タ イ】 9月 2日開催（現地31社50名、県内14団体22名が参加）

【韓 国】 10月28日開催（現地32社42名、県内19団体40名が参加）



【台湾 商談会】



【(参考) 昨年度の配信動画】

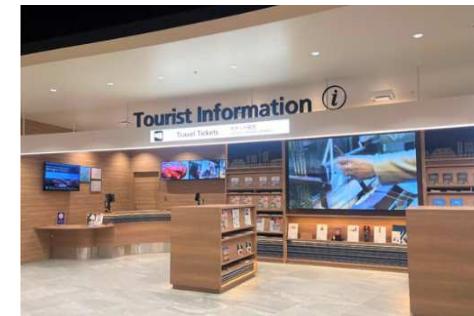
■ 県内温泉地への誘客強化

① 「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を開設

- ・福岡空港国際観光案内所に「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置し、外国人観光客に対し本県の食と温泉地の魅力を案内することで、知名度向上および誘客促進を図る

- 【内 容】**
- ・福岡の食と温泉に関する研修を受けたコンシェルジュによる案内
 - ・食と温泉を紹介する多言語パンフレットの設置
 - ・ノベルティの配布
 - ・デジタルサイネージでのPR動画放映

【設置時期】 令和8年2月～設置予定



【福岡空港国際観光案内所】

② 県内温泉施設に宿泊する県外発バスツアーの造成を支援

- ・県内温泉施設に宿泊する県外発バスツアーを造成・催行する旅行会社の旅行商品造成を支援

【期 間】 令和7年10月15日（水）～令和8年2月12日（木）出発

【対 象】 県内温泉施設（政令市除く）に宿泊する県外発バスツアー

- 【要 件】**
- ① 県外を発地とする県内の温泉施設 ※（政令市除く）に宿泊するバスツアー
 - ② 参加者が20名以上の旅行
 - ③ 県が別に定める観光施設又は観光素材（宿泊する事業者の施設を除く）等を1か所以上訪問

※ 旅館業法第3条第1項に基づく営業許可を有する宿泊施設
温泉法に基づく浴用利用許可を受けた温泉施設

【助成額】 バス1台あたり 10万円（定額）



【原鶴温泉】

■ 観光客の県内周遊・宿泊の促進

① 閑散期平日の宿泊を促進

- ・閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市を除く）への宿泊者に対し割引支援を実施

【期間】 令和7年 5月7日（水）～ 7月18日（金）

令和7年12月1日（月）～ 令和8年2月13日（金）

【対象者】 県内宿泊施設（政令市を除く）、旅行会社 ※事前登録制

【割引率】 宿泊・旅行代金の総額20%（1人1泊あたり最大3千円）



② 県内周遊バス旅行商品「よかバス」の実施

- ・県内周遊バス旅行商品サイト「よかバス」を開設し、バス旅行商品を造成する県内旅行会社に助成
- ・旅行会社との商談会を開催
- ・インバウンド向け「よかバス」商品のプロモーションを実施予定

【バス旅行商品造成支援】

【対象】 県が指定する6エリアの観光素材2つ以上、
又は「西の都」の観光素材3つ以上を行程に含むバスツアー

【助成額】 日帰り 5万円、宿泊 10万円

【プロモーション】

【国内】 TV、Web広告、新聞広告など各種メディアを活用

【海外】 海外OTAサイトへの特設ページ開設



【よかバス】

4 観光振興の体制強化

■ 観光業の人材育成・雇用促進

① 宿泊業の人材不足解消に向けたインターンシップの導入支援、合同会社説明会の実施

- 人材不足が深刻化する宿泊業への雇用を促進するため、インターンシップの導入支援や、県内外の学生・転職希望者を対象とした合同会社説明会を開催

	事業者向け人材確保支援セミナー	インターンシップマッチングイベント	合同会社説明会
実施回数	4回 (福岡・北九州・オンライン2回)	2回 (福岡・北九州)	3回 (東京・福岡2回)
参加者数 (R7.10.31時点)	65名	30社・245名	5社・81名 (東京開催分のみ)

② 宿泊施設従業員を対象としたおもてなし研修の実施

- 県内宿泊施設におけるおもてなし力を磨くため、宿泊施設従業員を対象とした研修を実施することで、本県に来訪する観光客の満足度向上を図る

【開催方法】 対面開催（6回）、オンデマンド配信

【研修内容】 接客・接遇スキルの向上、多様なニーズへの対応 等

【参加者数】 63名（令和7年10月31日時点・2回開催分）



【おもてなし研修の様子】

■ 食の多様性対応の推進

① ムスリム、ベジタリアン等が安心して利用できる飲食店情報を発信

- ・県観光情報サイトにムスリム・ベジタリアン等が安心して利用できる飲食店情報を掲載する特設ページを開設し、6言語（日・英・韓・簡・繁・仏）で情報発信



② 飲食店等へ啓発セミナー・専門家によるメニュー開発支援

- ・飲食店や宿泊施設を対象に、ムスリム・ベジタリアン等の「食の多様性」を普及・啓発するため、試食体験セミナーの開催や専門家によるメニュー開発に向けた個別支援を実施

【普及啓発セミナー】

[内 容] ムスリム・ベジタリアン等の基礎知識や事例店舗紹介、食の多様性に対応したメニューの試食体験 等

[参加者数] 281名（全4回開催：7/29、8/7、8/20、9/4）

【メニュー開発に向けた個別支援】

[支援内容] 食材・調味料のチェックや仕入先の開拓、多言語メニュー作成支援、開発メニューの試食・テスト販売の実施 等

[支援事業者数] 20事業者程度



【試食体験セミナーの様子】



【豚骨風ラーメンセット（ヴィーガン）】



【もつ鍋（ムスリム）】